

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科 昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	聴覚検査 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期 木曜1限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	叶 陽子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
聴覚機能検査の原理や理論、また検査者としての心構えや注意点を学び、理解を深める。実習を通して検査技術や評価方法を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「聴覚検査の実際」、配布資料						
《授業外における学習方法》						
予習・復習として教科書や配布資料を読んでおいてください						
《履修に当たっての留意点》						
授業中や予習復習時などに分からない点があれば、そのままにせず質問し解決してください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	インピーダンスオージオメトリーの原理、方法について理解する	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	ティンパノメトリー、アブミ骨筋反射検査について原理を知り、検査手順や評価方法を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自記オージオメトリーについて、原理や手順、評価法を理解する	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	自記オージオメトリーの原理を知り、検査手順や評価法を学ぶ			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	インピーダンスオージオメトリー、自記オージオメトリーの検査技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに実習がすすめられるよう手順を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	インピーダンスオージオメトリー、自記オージオメトリー検査実習			
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	インピーダンスオージオメトリー、自記オージオメトリーの検査技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに実習がすすめられるよう手順を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	インピーダンスオージオメトリー、自記オージオメトリー検査実習			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴性誘発反応の各検査の原理、方法について理解する	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	ABR、ASSR、蝸電図などについて原理を知り、検査手順や評価法を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種幼児聴力検査について原理を知り、検査手順や評価法を理解する	教科書 配布資料 検査機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	発達に応じた乳幼児聴力検査について、それぞれの特徴や注意点について学ぶ		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	音場検査について必要性や特徴、検査手順を理解する	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	音場検査の原理や目的、検査手順を学び、実習を通して検査技術を習得する		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	実習を通して各種乳幼児聴力検査、音場検査の検査技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに実習がすすめられるよう手順を復習しておく
		各コマにおける授業予定	各種乳幼児聴力検査、音場検査の実習		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			